



平成 23 年 2 月 9 日

## ハイチ南部のコレラ治療ユニットで治療

### ～小児科医師が帰国～

ハイチで感染が拡大しているコレラの蔓延を防ぐため、日本赤十字社から派遣されていた村松幹司医師が、約 1 ヶ月間の活動を終え帰国いたします。

つきましては、以下のおり出迎え式および記者会見を行いますので、興味のある方は、ぜひご参加ください。

■出迎え式： 平成 23 年 2 月 17 日（木）午前 10 時 00 分  
名古屋第二赤十字病院 3 病棟 1 階研修ホール前にて

■記者会見兼帰国報告会：  
同日午前 10 時 10 分から 20 分程度  
3 病棟

1 階 研修ホールにて

■派遣先： ハイチ共和国 南県ポルタピマン

■派遣者：むらまつ かんじ  
村松幹司（名古屋第二赤十字病院  
新生児科副部長）



コレラ患者用のベッドを清掃するスタッフ

■事業内容： 最新の報告(1月16日)によると 194,095 人がコレラのため病院を訪れ、109,015 人が入院、3,889 人が死亡したハイチでは、子どものコレラ患者も多いと言われています。派遣前に「子どもは災害弱者と言われます。自分の専門性を活かし、子どもや新生児への治療を充実させたい」と語り第 3 班の要員として派遣された小児科の村松幹司医師は、南県ポルタピマンにて医療活動を行いました。



■派遣期間：平成 23  
年 1 月 7 日～2 月 14  
日

<問い合わせ先>

病院代表番号 052-832-1121（内線 71101）

国際医療救援部直通 052-832-5467

主事 芳原(ほうばら)みなみ